

# 記 入 例

## (太陽光)

〒984-8508

宮城県仙台市若林区  
沖野二丁目5-10

東北電力株式会社 太陽光受給センター 行

### 郵送前の確認事項

申込みに必要な書類について、すべて記入されていることをご確認ください。  
なお、PCSの認証有無により次表のとおり必要書類が異なります。次表へチェックのうえ、漏れなくご郵送ください。

必要書類	PCSが認証品の場合	PCSが非認証品の場合
再生可能エネルギー発電設備 低圧系統連系・電力売電申込書	○	
PCS様式1 単線結線図	○	
認証証明書(写)	○	
PCS様式2 保護継電器整理一覧表		
PCS様式3 屋内配線による電圧上昇簡易計算書	○	
PCS様式4 その他資料 (仕様書, 詳細資料説明書, 各種試験データ)		
電気使用申込書(写)・電気供給のご案内(写)	○	

### 【発送元】

ご住所	宮城県東北市北区6丁目7-8	
お名前 (ご法人さま名)	株式会社タイヨウ	ご担当者様氏名: 山本
ご連絡先	TEL:011-222-5555 FAX:011-222-5556 携帯:090-9876-5432 Email:taiyo@taiyo.co.jp	

#### 〈お願い〉

○再生可能エネルギー発電設備 低圧系統連系・電力売電申込書は、記名捺印後の本書によりお申込みください。

○必要書類が不足していた場合、お申込みをお預かりいたしかねますので、郵送前に確認のうえ郵送ください。

## 提出書類チェックリスト (PCS 低圧配電線連系)

今回の  
お申込み



「認証登録品の場合」

様式	提出書類	チェックポイント	お客さま提出日 (再提出日)	当社確認日	備考
申込書	系統連系申込書	必要項目がすべて記入されていますか			
PCS 様式	1 単線結線図	必要項目がすべて記入されていますか	/	/	認証登録品の場合は提出不要です
	2 保護継電器整定一覧表				
	3 屋内配線による電圧上昇簡易計算書	必要項目がすべて記入されていますか			
	4 その他資料	認証登録品の場合、認証証明書が添付されていますか			
その他	電気使用申込書 (写)	系統連系申込書の内容と一致していますか			

今回の  
お申込み



「認証登録品以外の場合」

様式	提出書類	チェックポイント	お客さま提出日 (再提出日)	当社確認日	備考
申込書	系統連系申込書	必要項目がすべて記入されていますか			
PCS 様式	1 単線結線図	必要項目がすべて記入されていますか	/	/	
	2 保護継電器整定一覧表	必要項目がすべて記入されていますか			
	3 屋内配線による電圧上昇簡易計算書	必要項目がすべて記入されていますか			
	4 その他資料	認証登録品以外の場合、仕様書・詳細資料説明書および各種試験データが添付されていますか			
その他	電気使用申込書 (写)	系統連系申込書の内容と一致していますか			

以上

※太枠内について漏れなく記入，チェック願います。

東北電力株式会社 御中

ご記入日	平成 29 年 4 月 1 日
申込受付日 (東北電力記入欄)	平成 年 月 日
不備なく受付した月日を申込受付日とさせていただきます。	
系統連系の回答予定日の通知	申込受付日の翌日から起算して1ヶ月目

フリガナ	トウホク タロウ	ご捺印願います。	東
お申込者氏名	東北 太郎		
ご住所 (現在お住まいの住所)	〒 999 - 9999 宮城県東北市南区3丁目4-5		
電話番号	ご自宅 012 - 345 - 6789	ご不在時連絡が可能な連絡先	090 - 1234 - 5678

### 再生可能エネルギー発電設備 低圧系統連系・電力売電 申込書

貴社の「再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱」を承諾し、「電気設備の技術基準の解釈」および「電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン」に沿って検討のうえ以下の再生可能エネルギー発電設備を貴社電力系統へ連系することについて申込みとともに、貴社電力系統への連系について承諾いただける場合は、当該再生可能エネルギー発電設備によって発電した電力を貴社に売電したく申込みいたします。

なお、以下のいずれかに該当する場合は、本申込みは承諾されないものとし、本申込みにもとづき貴社との契約が既に成立している場合であっても、当該契約が貴社によって解除されることに同意いたします。

- ・「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(以下、「再エネ特措法」という。)」第9条第3項にもとづき経済産業大臣から受けた認定の効力が失われた場合
  - ・特段の理由がないにもかかわらず、接続契約が成立して相応の期間経過してもなお認定(再エネ特措法第10条第1項に定める変更認定および同第2項に定める届け出を含みます)を取得しない場合
  - ・再エネ特措法施行規則第14条に定める「正当な理由」のいずれかに該当することを貴社が判断する場合
  - ・貴社が算定した発電設備の系統連系に必要な費用を貴社の定める期日までに支払わない場合
- また、本申込みに関して、貴社が以下のとおり取扱うことも、あわせて同意いたします。
- ・本申込みを撤回した際に、本申込みの内容の検討に要した費用を貴社に支払うこと
  - ・特段の理由がないのに受給開始希望日を経過してもなお受給開始しない場合に、貴社が当該契約を解除できること
  - ・電気需給契約に係る「電気使用申込書」等の提出がなされるまでは、本申込みを貴社が受付した場合でも、再エネ特措法第16条第1項の契約の申込みの内容を充足していないとして貴社が取扱うこと

申込種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規設置 <input type="checkbox"/> 設備変更 ( <input type="checkbox"/> 同一計量 <input type="checkbox"/> 別計量 )	
	<input type="checkbox"/> 他社からの売電先変更 <input type="checkbox"/> 既設設備の使用再開(既設設備の変更 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 )	
発電設備の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 太陽光 <input type="checkbox"/> 風力 <input type="checkbox"/> 水力 <input type="checkbox"/> 地熱 <input type="checkbox"/> バイオマス	
発電設備区分	<input type="checkbox"/> 10kW未満 <input checked="" type="checkbox"/> 10kW未満(その他自家用発電設備等併設) <input type="checkbox"/> 10kW以上	
フリガナ 発電者名義 (電気需給契約と同一)	トウホク タロウ	(代表者役職名) (代表者名)
受給地点 (発電設備設置場所住所)	〒 999 - 9999 宮城県東北市南区3丁目4-5	現在、電気使用申込書を提出している。 受付番号 ( U1234 )
認定番号 (設備変更の場合ご記入ください)	再生可能エネルギー電気卸供給約款 にもとづく卸供給の希望	<input type="checkbox"/> 有
配線方法	<input checked="" type="checkbox"/> 余剰配線(更地に発電設備を設置する場合を含む。) <input type="checkbox"/> 全量配線(需要場所の特例措置適用を希望)	
上記場所の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 住宅兼店舗 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
(任意) お客さま番号 ※電気ご使用量のお知らせ等 を参考に記入ください。	回数 営業所 市町村 町字 街区 住居 枝 副	電気方式 交流 単 相 3 線式 受電電圧 <input type="checkbox"/> 100V <input type="checkbox"/> 200V <input checked="" type="checkbox"/> 100/200V
最大受電電力	9.00 kW ※バネとインバーターのどちらか小さい容量を 小数点以下第二位までご記入願います。	連系・売電 開始日 (受給開始 希望日) 平成 29 年 8 月 1 日
【その他自家用発電設備等を併設される場合】 発電出力・押し効果* *押し効果を確認できる書類の添付が必要	発電出力 1.0 kW 押し効果 (該当○印) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
料金振込先・口座番号 (※貯蓄預金、定期預金等への振込みは できませんのでご了承ください)	フリガナ 口座名義 東北 太郎	コード( 1234 ) 支店名 東北 支所 コード( 567 ) 預金種別 普通 2. 当座 口座番号(右つめてご記入ください) 1 2 3 4 5 6 7
ゆうちょ銀行 (郵便局)	通帳記号(5桁)	通帳番号 8桁右つめてご記入ください
受給開始後連絡先住所	<input type="checkbox"/> ①上記、現在お住まいの住所 <input checked="" type="checkbox"/> ②上記、受給地点 <input type="checkbox"/> ③その他住所(〒 - )	検針結果の お知らせ方 法 ※太陽光のみ <input checked="" type="checkbox"/> 現地置き希望 <input type="checkbox"/> 郵送希望(左記①③のとおり 現地置きが出来ない場合の み)
申込み代理人名義・住所 (電気工事会社等、書類送付先)	(名義) 株式会社タイヨウ 【担当者: 山本 携帯: 090 - 9876 - 5432】 (住所)〒 999 - 9999 宮城県東北市北区6丁目7-8	工事会社コード ( 4123 ) (TEL : 011 - 222 - 5555 ) (FAX : 011 - 222 - 5556 ) (Email: taiyo@taiyo.co.jp) 代理人への 連絡方法 <input type="checkbox"/> 電話(固定) <input type="checkbox"/> FAX <input checked="" type="checkbox"/> 電話(携帯) <input type="checkbox"/> E-mail
備考	(事前協議番号 - - - - - )	

※当社はお預かりした個人情報を、当社が行なう電気事業、ガス事業およびこれらに付帯関連する事業の適切な遂行のために必要な範囲で利用いたします。

ご記入例

申込日 平成 29 年 4 月 1 日

※太枠内を漏れなく記入。(以下も同じ)

東北電力株式会社 御中

太枠内を記入のうえ提出願います。

お客さま 東北 太郎

電気工事会社等 株式会社タイヨウ

## 電力受給開始日の変更について

電力受給開始日を下記のとおり変更することといたしたく、ご了承願います。  
なお、あわせて現地調査も依頼いたしますので、立会いをお願いいたします。

記

## 【お申込み内容】

ご契約名義	東北 太郎	受付No.	2016-宮城-0001
受給地点 (発電設備設置場所)	宮城県東北市南区3丁目4-5		

※既申込み内容を記入。

## 【電力受給開始日の変更内容】

変更前	平成29年4月1日	→	変更後	平成29年4月5日
変更理由	<input type="checkbox"/> 内線工事遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 建築工事遅れ <input type="checkbox"/> その他 ( )			

## 【現地調査希望日】

	日程	時間帯	
現地調査希望日 <small>時間帯は○で囲む</small>	平成29年4月6日	午前 / 午後	
連系日当日調査の理由			
当日の立会い者名	株式会社タイヨウ 山本	当日緊急時連絡先	090-9876-5432

※希望日どおりに調査できない場合があります。その際は、別途協議させていただきますので、ご了承願います。

以上

## 《東北電力使用欄》

電力受給開始日	年 月 日
現地調査日時	年 月 日 時 分

《メモ欄》

技術検討 担当個所	太陽光契約担当個所		
	課長	副長	担当者

1. 単線結線図 (記入例①: 余剰配線新規設置・スマートメーター希望・新增設申込み無し)

お客さま名	東北 太郎
電気工事会社	株式会社タイヨウ
東北電力使用欄	受付番号

注意事項

- ◆記入例を参考にご記入ください。
- ◆発電設備の接続方法にあわせ、(a)~(d)の点線を実線に変更してください。
- ◆この図面によりがたい場合は別途図面を添付してください。
- ◆太陽光以外の自家発電設備等を併設する場合は、その情報もご記入ください。(太陽光発電設備が10kW未満の場合、逆電力リレーの位置により購入単価が異なります。)

【ELCBとその接続方式について】

※ELCBおよびインバータ回路用開閉器については、逆接続可能型(太陽光連系対応型)が必要です。  
※ELCBに複数配線を接続する場合は、複数接続が可能な接続方式(圧着端子用、平型端子付など)を有するものを使用願います。

下記質問事項にお答えいただいた上で、単線結線図①~⑥と発電設備の諸元をもしなく記入してください。

質問1	逆潮流の有無および当社への売電の有無について <input checked="" type="checkbox"/> 逆潮流があり、当社へ売電する。 <input type="checkbox"/> 逆潮流がない。 <input type="checkbox"/> 逆潮流があるが、当社へ売電しない(無償提供等)。
質問2	ダブル発電(トリプル発電)について <input type="checkbox"/> ダブル発電に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がある。 <input type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がない。
質問3	全量配線(需要場所の特例措置希望)による場合の配線方法について(野立て余剰配線の場合は記入不要) <input type="checkbox"/> 2引込方式 <input type="checkbox"/> 1引込Y分岐 <input type="checkbox"/> その他 (配線方法の分かる資料を添付してください。)
質問4	一般用電気工作物について <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備以外の一般用電気工作物に対して工事を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> プレーカー取替(3P3Eへの変更)、内線の張替え等、一般用電気工作物の新設・変更工事を行った。
質問5	発電設備の設置状況について <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は引込線の取付場所と隣接する場所である。 <input type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は、引込線の取付場所から道路を跨いだ別の場所である。
質問6	売電電力の計量方法(基本的にスマートメーターでの計量とさせていただきますので、電気使用(変更)申込みの有無をご確認のうえお申込みください) <input checked="" type="checkbox"/> スマートメーター希望 <input checked="" type="checkbox"/> 電気使用(変更)申込み <input type="checkbox"/> 有(申込み済みを確認) <input checked="" type="checkbox"/> 無(太陽光受給契約の新設・設備変更のみ申込み)
質問7	「質問(6)で 電気使用(変更)申込み無」の場合、取付工事について(電気使用(変更)申込み有の場合は記入不要) <input checked="" type="checkbox"/> 自社工事を行なう。 (指定引込線委託工事会社のみ) <input type="checkbox"/> 指定する他社(下記に記載)にて工事を行なう。 <input type="checkbox"/> 東北電力にて工事を行なう。 【工事会社名: _____】 【コード( ): _____】

【資材宅配受取方法】(上記質問(7)にて「自社工事」もしくは「指定する他社」に○を選択した場合は下記を記入して下さい。)

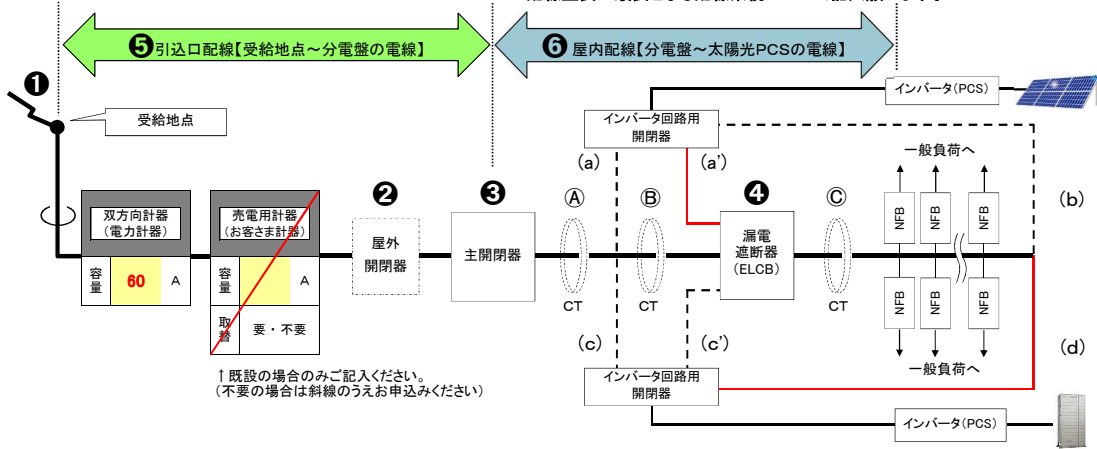
資材受取(到着)希望日	29 年 9 月 1 日 (金)
受取方法	宅配先 宅配希望時間 指定なし   申込工事会社 受給地点 他 下記へ宅配先の名義・住所を記入 指定引込線委託工事会社 止置 下記へ宅配事業所の名称・住所をご記入ください 60Hz地域営業所 上越営業所 糸魚川営業所 佐渡営業所 庫出不要
名義・宅配事業所名称	●●●●●●●●●●
電話番号	XXX-XXX-XXXX
住所	〒 XXX - XXXX ●●●●●市●●●●●

太陽光パネル最大出力とPCSが同じ組合せになる場合は、セット台数を記載願います。

■引込口配線設備・屋内配線設備の諸元について

① 当社 引込柱		⑤ 引込口配線【受給地点～分電盤の電線】(※1)		⑥ 屋内配線【分電盤～PCSの電線】(※1)	
東北連絡 線 1北1 号		電線路A (必須項目) 電線路B (途中で線種変更ある場合)		電線路C (必須項目) 電線路D (途中で線種変更ある場合)	
② 屋外開閉器		設置 新設 / 既設 / 取替 / なし		設置 新設 / 既設 / 取替 / なし	
MCCB/ELCB		SB/MCCB/ELCB		MCCB/ELCB	
種類 P E A		種類 3 P 2 E 60 A		種類 3 P 3 E 50 A	
		OC付 / OC無			
		線種 CV		線種 CV	
		太さ 22sq		太さ 14sq	
		長さ(m) 15		長さ(m) 10	
				線種 CV	
				太さ 14sq	
				太さ 8sq	
				長さ(m) 10	
				長さ(m) 5	

※1 ⑤引込口配線、ならびに⑥屋内配線の記載内容に基づき、屋内配線による電圧上昇値を計算いたします。発電設備が複数台となる場合は、配線互長が最長となる配線系統について記入願います。



■発電設備の諸元について

太陽光発電設備	設置	新設 / 既設 / 取替
	結線	(a) / (a') / (b)
	太陽光パネル 最大出力 (※2)	3.120 [kW]
	メーカー	株式会社O×
	型式	XYZ-A4.5
	認証番号(※3)	MP-9999
	定格出力	4.500 [kW]
	設置	新設 / 既設 / 取替
	結線	(a) / (a') / (b)
	太陽光パネル 最大出力 (※2)	[kW]
発電設備以外の	設置	新設 / 既設 / 取替
	結線	(c) / (c') / (d)
	発電設備の種類	ガスコジェネ / 燃料電池 / 蓄電池 / その他 ( )
	メーカー	△株式会社
	型式	ACE12345
	認証番号(※3)	非認証品
	定格出力	3.000 [kW]
	逆電力リレー	A / B / C / なし

※2 最大出力、定格出力は小数点以下第3位までご記入ください。  
※3 インバータ(PCS)が非認証品の場合は、「非認証品」と記載してください。

1. 単線結線図 (記入例②: 全量配線新規設置・スマートメーター希望・新增設申込み有り)

お客さま名	東北 太郎
電気工事会社	株式会社タイヨウ

東北電力使用欄	受付番号
---------	------

注意事項

- ◆記入例を参考にご記入ください。
- ◆発電設備の接続方法にあわせ、(a)~(d)の点線を実線に変更してください。
- ◆この図面によりがたい場合は別途図面を添付してください。
- ◆太陽光以外の自家発電設備等を併設する場合は、その情報もご記入ください。(太陽光発電設備が10kW未満の場合、逆電力リレーの位置により購入単価が異なります。)

【ELCBとその接続方式について】

※ELCBおよびインバータ回路用開閉器については、逆接続可能型(太陽光連系対応型)が必要です。  
※ELCBに複数配線を接続する場合は、複数接続が可能な接続方式(圧着端子用、平型端子付など)を有するものを使用願います。

下記質問事項にお答えいただいた上で、単線結線図①~⑥と発電設備の諸元をもちろん記入してください。

質問1	逆潮流の有無および当社への売電の有無について <input checked="" type="checkbox"/> 逆潮流があり、当社へ売電する。 <input type="checkbox"/> 逆潮流がない。 <input type="checkbox"/> 逆潮流があるが、当社へ売電しない(無償提供等)。
質問2	ダブル発電(トリプル発電)について <input checked="" type="checkbox"/> ダブル発電に該当しない。 <input type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がある。 <input type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がない。
質問3	全量配線(需要場所の特例措置希望)による場合の配線方法について(野立て余剰配線の場合は記入不要) <input type="checkbox"/> 2引込方式 <input checked="" type="checkbox"/> 1引込Y分岐 <input type="checkbox"/> その他 (配線方法の分かる資料を添付してください。)
質問4	一般用電気工作物について <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光発電設備以外の一般用電気工作物に対して工事を行っていない。 <input type="checkbox"/> プレーカー取替(3P3Eへの変更)、内線の張替え等、一般用電気工作物の新設・変更工事を行なった。
質問5	発電設備の設置状況について <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は引込線の取付場所と同一の敷地内である。 <input type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は、引込線の取付場所から道路を跨いだ別の場所である。 <input type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は、引込線の取付場所から道路を跨いだ別の場所である。
質問6	売電電力量の計量方法(基本的にスマートメーターでの計量とさせていただきますので、電気使用(変更)申込みの有無をご確認のうえお申込みください) <input checked="" type="checkbox"/> スマートメーター希望 <input checked="" type="checkbox"/> 電気使用(変更)申込み <input checked="" type="checkbox"/> 有(申込み済みを確認) <input type="checkbox"/> 無(太陽光受給契約の新設・設備変更のみ申込み)
質問7	「質問(6)で 電気使用(変更)申込み無」の場合、取付工事について(電気使用(変更)申込み有の場合は記入不要) <input type="checkbox"/> 自社工事を行なう。 <input type="checkbox"/> 指定する他社(下記に記載)にて工事を行なう。 <input type="checkbox"/> 東北電力にて工事を行なう。 (指定引込線委託工事会社のみ) 【工事会社名: _____ コード(_____)】

【資材宅配受取方法】(上記質問(7)にて「自社工事」もしくは「指定する他社」に○を選択した場合は下記を記入して下さい。)

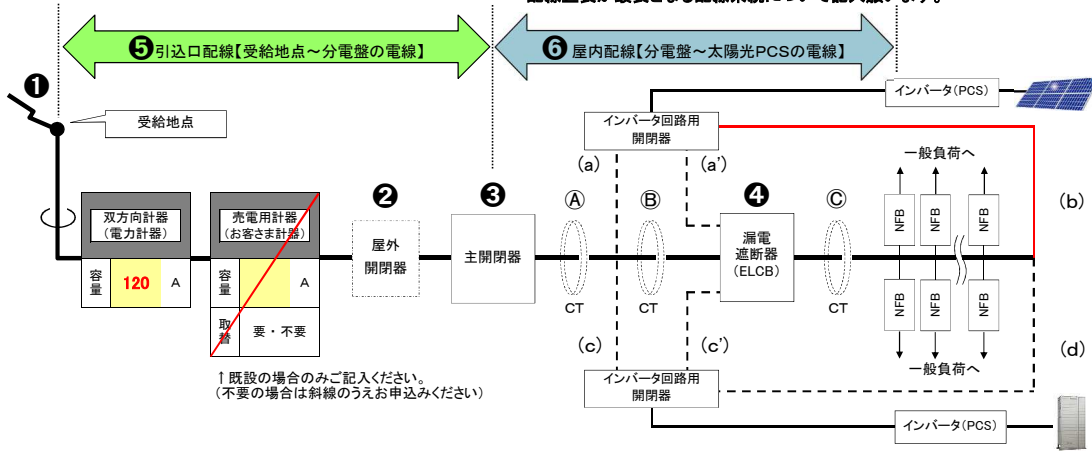
資材受取(到着)希望日	年 月 日 ( )	
受取方法	宅配先	申込工事会社 受給地点 その他 ※下記へ宅配先の名義・住所を記入 指定引込線委託工事会社
	宅配希望時間	指定なし   午前中・14時~16時・16時~18時・18時~20時・19時~21時
方法	止置	下記へ宅配事業所の名称・住所をご記入ください
	60Hz地域営業所 庫出不要	上越営業所・糸魚川営業所・佐渡営業所
名義・宅配事業所名称		電話番号
住所	〒 -	

太陽光パネル最大出力とPCSが同じ組合せになる場合は、セット台数を記載願います。

■引込口配線設備・屋内配線設備の諸元について

① 当社 引込柱		⑤ 引込口配線【受給地点～分電盤の電線】(※1)		⑥ 屋内配線【分電盤～PCSの電線】(※1)					
東北連絡 線 1北1 号		電線路A (必須項目)		電線路B (途中で線種変更ある場合)		電線路C (必須項目)		電線路D (途中で線種変更ある場合)	
② 屋外開閉器		③ 主開閉器		④ 漏電遮断器(ELCB)		設置		新設 / 既設 / 張替	
設置 新設 / 既設 / 取替 / なし		設置 新設 / 既設 / 取替 / なし		設置 新設 / 既設 / 取替 / なし		線種		CV CV CV CV	
種類 MCCB/ELCB		種類 SB/MCCB/ELCB		種類 MCCB/ELCB		太さ		22sq 14sq 14sq 8sq	
P E A		P E A		3 P 3 E 100 A		長さ(m)		15 10 10 5	

※1 ⑤引込口配線、ならびに⑥屋内配線の記載内容に基づき、屋内配線による電圧上昇値を計算いたします。発電設備が複数台となる場合は、配線長が最長となる配線系統について記入願います。



■発電設備の諸元について

太陽光発電設備	設置	新設 / 既設 / 取替	
	結線	(a) / (a') / (b)	
	太陽光パネル 最大出力(※2)	6.125 [kW]	
	PCS	メーカー 株式会社O×	型式 ABC-D4.5
太陽光発電設備以外の発電設備	設置	新設 / 既設 / 取替	
	結線	(a) / (a') / (b)	
	太陽光パネル 最大出力(※2)	4.850 [kW]	
	PCS	メーカー 株式会社O×	型式 XYZ-A4.5
発電設備の種類	設置	新設 / 既設 / 取替	
	結線	(c) / (c') / (d)	
	発電設備の種類	ガスコジェネ / 燃料電池 / 蓄電池 / その他( )	
	PCS	メーカー	型式
逆電力リレー	設置	A / B / C / なし	
	結線	A / B / C / なし	

※2 最大出力、定格出力は小数点以下第3位までご記入ください。  
※3 インバータ(PCS)が非認証品の場合は、「非認証品」と記載してください。

1. 単線結線図 (記入例③: 余剰配線設備変更)

Form for customer name (東北 太郎), electrical contractor (株式会社タイヨウ), and address (東北電力使用欄).

注意事項: 記入例を参考に記入ください。発電設備の接続方法にあわせ、(a)~(d)の点線を実線に変更してください。

[ELCBとその接続方式について] ※ELCBおよびインバータ回路用開閉器については、逆接続可能型(太陽光連系対応型)が必要です。

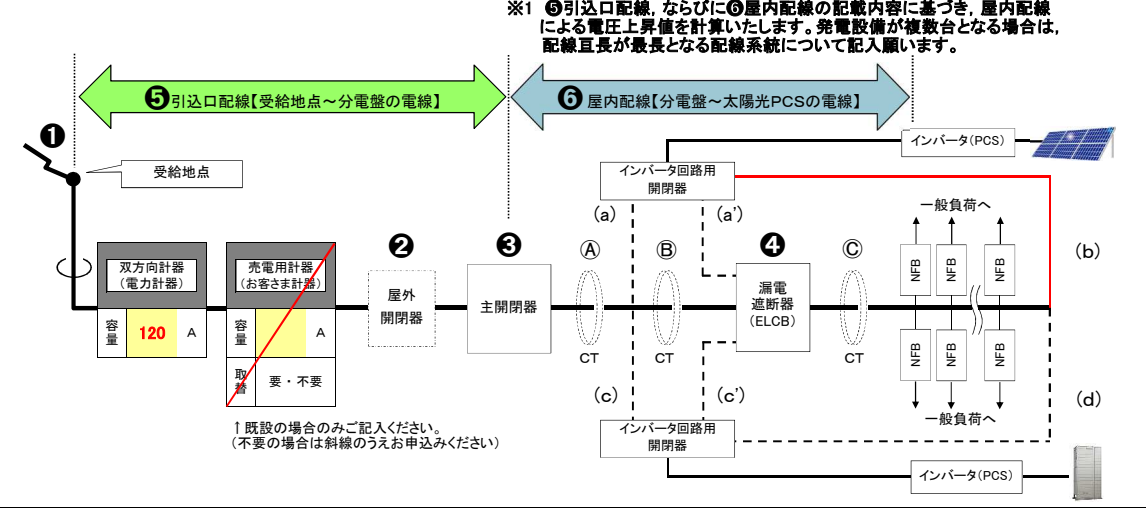
下記質問事項にお答えいただいた上で、単線結線図①~⑥と発電設備の諸元をもちろなく記入してください。

7 questions regarding power flow, double power generation, wiring methods, and equipment status.

Material home reception method table with columns for address, delivery location, and company name.

■引込口配線設備・屋内配線設備の諸元について

Table for wiring specifications including incoming lines (東北連絡), outdoor breakers, main breakers, and ELCBs.



■発電設備の諸元について

Table for solar power generation equipment specifications, including manufacturer, model, and capacity.

※2 最大出力、定格出力は小数点以下第3位までご記入ください。 ※3 インバータ(PCS)が非認証品の場合は、「非認証品」と記載してください。



1. 単線結線図 (記入例④: 増設別計量有り)

お客さま名	東北 太郎
電気工事会社	株式会社タイヨウ
東北電力使用欄	受付番号

**注意事項**

- ◆記入例を参考にご記入ください。
- ◆発電設備の接続方法にあわせ、(a)~(d)の点線を実線に変更してください。
- ◆この図面によりがたい場合は別途図面を添付してください。
- ◆太陽光以外の自家発電設備等を併設する場合は、その情報もご記入ください。
- (太陽光発電設備が10kW未満の場合、逆電力リレーの位置により購入単価が異なります。)

**【ELCBとその接続方式について】**  
 ※ELCBおよびインバータ回路用開閉器については、逆接続可能型(太陽光連系対応型)が必要です。  
 ※ELCBに複数配線を接続する場合は、複数接続が可能な接続方式(圧着端子用、平型端子付など)を有するものを使用願います。

下記質問事項にお答えいただいた上で、単線結線図①~⑥と発電設備の諸元をもしも記入してください。

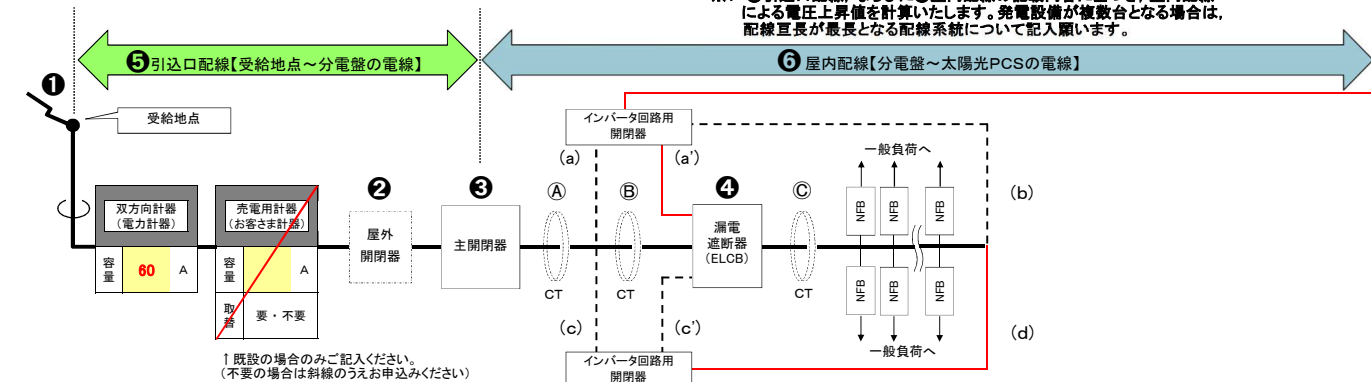
質問1	逆潮流の有無および当社への充電の有無について <input checked="" type="checkbox"/> 逆潮流があり、当社へ充電する。 <input type="checkbox"/> 逆潮流がない。 <input type="checkbox"/> 逆潮流があるが、当社へ充電しない(無償提供等)。
質問2	ダブル発電(トリプル発電)について <input type="checkbox"/> ダブル発電に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がある。 <input type="checkbox"/> ダブル発電で押し上げ効果がない。
質問3	全量配線(需要場所の特例措置希望)による場合の配線方法について(野立て余剰配線の場合は記入不要) <input type="checkbox"/> 2引込方式 <input checked="" type="checkbox"/> 1引込Y分岐 <input type="checkbox"/> その他 (配線方法の分かる資料を添付してください。)
質問4	一般用電気工作物について <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備以外の一般用電気工作物に対して工事を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> ブレーカー取替(3P3Eへの変更)、内線の張替え等、一般用電気工作物の新設・変更工事を行なった。
質問5	発電設備の設置状況について <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は引込線の取付場所と同一の敷地内である。 <input type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置場所は、引込線の取付場所から道路を跨いだ別の場所である。
質問6	発電設備の計量方法(基本的にスマートメーターでの計量とさせていただきますので、電気使用(変更)申込みの有無をご確認のうえお申込みください) <input checked="" type="checkbox"/> スマートメーター希望 <input checked="" type="checkbox"/> 電気使用(変更)申込み <input type="checkbox"/> 有(申込み済みを確認) <input type="checkbox"/> 無(太陽光受給契約の新設・設備変更のみ申込み)
質問7	「質問(6)で 電気使用(変更)申込み無」の場合、取付工事について(電気使用(変更)申込み有の場合は記入不要) <input checked="" type="checkbox"/> 自社工事を行なう。 <input type="checkbox"/> 指定する他社(下記に記載)にて工事を行なう。 <input type="checkbox"/> 東北電力にて工事を行なう。 (指定引込線委託工事会社のみ) <input type="checkbox"/> 工事会社名: _____ コード( _____ )

【資材宅配受取方法】(上記質問(7)にて「自社工事」もしくは「指定する他社」に○を選択した場合は下記を記入して下さい。)

資材受取(到着)希望日	29 年 9 月 1 日 ( )					
受取方法	<input checked="" type="checkbox"/> 宅配先	申込工事会社	受給地点	その他	※下記へ宅配先の名義・住所を記入	指定引込線委託工事会社
	宅配希望時間	指定なし	午前中	14時~16時	16時~18時	18時~20時
置	下記へ宅配事業所の名称・住所をご記入ください					
	60Hz地域営業所	上越営業所	糸魚川営業所	佐渡営業所	庫出不要	
名義・宅配事業所名称	●●●●●●●●●●				電話番号	XXX-XXX-XXXX
住所	〒	XXX	-	XXXX	●●●●●市●●●●●	

■引込口配線設備・屋内配線設備の諸元について

① 当社 引込柱			⑤ 引込口配線(※1) 【受給地点~分電盤の電線】		⑥ 屋内配線(※1) 【分電盤~PCSの電線】												
東北連絡			線	1北1	号	電線路A (必須項目)		電線路B (途中で線種変更する場合)		電線路C (必須項目)		電線路D (途中で線種変更する場合)					
② 屋外開閉器			③ 主開閉器		④ 漏電遮断器(ELCB)		設置	新設 / 既設 / 張替	設置	新設 / 既設 / 張替	設置	新設 / 既設 / 張替	設置	新設 / 既設 / 張替			
設置	新設 / 既設 / 取替 / なし		設置	新設 / 既設 / 取替 / なし		設置	新設 / 既設 / 取替 / なし		線種	CV	線種	CV	線種	CV	線種	CV	
種類	MCCB / ELCB		種類	SB / MCCB / ELCB		種類	MCCB / ELCB		太さ	22sq	太さ	14sq	太さ	14sq	太さ	8sq	
	P	E	A	3	P	2	E	60	A	長さ(m)	15	長さ(m)	10	長さ(m)	10	長さ(m)	5



※1 ⑤引込口配線、ならびに⑥屋内配線の記載内容に基づき、屋内配線による電圧上昇値を計算いたします。発電設備が複数台となる場合は、配線互長が最長となる配線系統について記入願います。

■発電設備の諸元について


太陽光発電設備
PCS No. 1
PCS No. 2
PCS No. 3
PCS No. 4
PCS No. 5
PCS No. 6
PCS No. 7
PCS No. 8
PCS No. 9
PCS No. 10
PCS No. 11
PCS No. 12
PCS No. 13
PCS No. 14
PCS No. 15
太陽光以外の発電設備
No. 1
No. 2
No. 3

諸元等の詳細については次ページへ記載願います。

■発電設備の諸元について

太陽光発電設備 	結線	売電用計器(子メーター)	PCS										太陽光パネル		
			設置	変更前				変更後				設置	変更前		変更後
				定格出力	メーカー	型式	認証番号(※3)	定格出力	メーカー	型式	認証番号(※3)		最大出力(※2)	最大出力(※2)	
PCS No. 1	(a) (a') (b) 新設・既設・取替・なし	新設・既設・取替	2,000 kW	㈱〇×	XYZ-A4.5	MP-8888	2,000 kW	㈱〇×	XYZ-A4.5	MP-8888	新設・既設・取替・増設	2,500 kW	2,500 kW		
PCS No. 2	(a) (a') (b) 新設・既設・取替・なし	新設・既設・取替	kW				2,000 kW	㈱△□	ABC-A3.0	MP-9999	新設・既設・取替・増設	kW	2,000 kW		
PCS No. 3	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW				2,000 kW	㈱△□	ABC-A3.0	MP-9999	新設・既設・取替・増設	kW	2,000 kW		
PCS No. 4	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 5	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 6	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 7	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 8	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 9	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 10	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 11	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 12	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 13	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 14	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		
PCS No. 15	(a) / (a') / (b)	新設・既設・取替・なし	kW								新設・既設・取替・増設	kW	kW		

発電メーター1台に対して複数台のPCSが設置される場合は、記載例のとおり「新設」欄を横断して記載ください。

太陽光以外の発電設備 	結線	売電用計器(子メーター)	発電設備等										
			設置	種類	逆電力リレー	変更前				変更後			
						定格出力	メーカー	型式	認証番号(※3)	定格出力	メーカー	型式	認証番号(※3)
No. 1	(c) / (c') (d) 新設・既設・取替・なし	新設・既設・取替	2,000 kW	●●	ACE12345	非認証品	2,000 kW	●●	ACE12345	非認証品			
No. 2	(c) / (c') / (d)	新設・既設・取替・なし	kW				kW						
No. 3	(c) / (c') / (d)	新設・既設・取替・なし	kW				kW						

※2 最大出力、定格出力は小数点以下第3位までご記入ください。  
 ※3 インバータ(PCS)が非認証品の場合は、「非認証品」と記載してください。

## 2. 保護継電器整定一覧表 (記入例)

下記の項目について、記入してください。  
(認証登録を受けていない装置については、保護継電器に係わる詳細説明資料および各種試験データを添付してください。)

逆潮流 有 無	種 別	検出レベル	検出時限	標準整定値	お客さま希望 整 定 値	検討整定値	備 考
○ ○	電 過電圧継電器 OVR	110, 113, 115, 119V	0.5~2.0秒 (ピッチ 0.5秒)	115V/230V	115V	115V	
○ ○	不足電圧継電器 UVR	80, 85, 90, 93V	0.5~2.0秒 (ピッチ 0.5秒)	80V/160V	80V	80V	
○ ×	力 周波数上昇継電器 OFR	50.5~52.0Hz (ピッチ 0.5Hz)	0.5~2.0秒 (ピッチ 0.5秒)	51.0Hz z / 61.2Hz z	51.0Hz	51.0Hz	
○ ○	周波数低下継電器 UFR	48.0~49.5Hz (ピッチ 0.5Hz)	0.5~2.0秒 (ピッチ 0.5秒)	48.5Hz z / 58.2Hz z	48.5Hz	48.5Hz	
× ○	逆電力継電器 RPR			インバータ定格出力の 5%程度			
× △	品 逆 充電 検出 機能	不足電力継電器 UPR		最大受電電力の 3%程度			時限 ゲートブロック 0.2秒 遮断出力 0.6~0.8秒
		不足電圧継電器 UVR		80V/160V			
○ ○	質 直流検出機能	検出レベル	定格出力電流の1%以下	定格出力電流の 1%以下	定格出力電流の 1%以下	定格出力電流の 1%以下	整定値は固定
		検出時限	0.5秒以下	0.5秒以下	0.5秒以下	0.5秒以下	
○ ○	自動 電圧 調整 機能	進相無効電力制御	制御電圧	107.5V			
		出力制御	制御電圧	107~110V (ピッチ 0.5V)	107.5V	107.5V	107.5V
○ △	単 独 運 転 検 出	【受動的方式】 電圧位相跳躍検出方式	検出レベル 検出時限 保持時限	3, 6, 9度 0.5秒以内 5.0秒	欄外参照	6度 0.5秒以内 5.0秒	検出レベルのみ可変, 他は固定
		【能動的方式】 周波数シフト方式	変動幅 検出要素 解列時限	$\Delta f = 0.2\text{Hz}$ 周波数異常 0.5秒以上, 1.0秒以下	欄外参照	$\Delta f = 0.2\text{Hz}$ 周波数異常 0.5秒以上, 1.0秒以下	$\Delta f = 0.2\text{Hz}$ 周波数異常 0.5秒以上, 1.0秒以下
○ ○	復電後の遮断器再投入時限	待機時間	10, 150, 180, 240, 300秒	150~300秒	300秒	300秒	
○ ○	FRT要件	対応していること					平成29年4月1日以降申込みされる太陽光連系については、事故時運転継続要件 (FRT要件) を満たすことが必須

- ... 設置要
- × ... 設置不要
- △ ... どちらか一方を設置

受動的方式	検出基準	検出時限	保持時限	能動的方式	変動幅	検出要素	解列時限
電圧位相跳躍検出	位相変化 $\pm 3 \sim \pm 10$ 度	0.5秒以内	5~10秒	周波数シフト	周波数バイアス: 定格周波数の数%	周波数異常	0.5秒以上 1秒以内
3次高調波 電圧歪急増検出	3次高調波変化 $+1 \sim +3$ %	0.5秒以内	5~10秒	有効電力変動	有効電力: 運転出力の数%	電圧, 電流, 周波数等の 周期変等分	0.5秒以上 1秒以内
周波数変化率検出	周波数変化 $\pm 0.1 \sim \pm 0.3$ %	0.5秒以内	5~10秒	無効電力変動	無効電力: 定格出力の数%	電流, 周波数等の 周期変等分	0.5秒以上 1秒以内
				負荷変動	挿入抵抗: 定格出力20%相当 挿入時間: 0.3秒毎に0.001秒以下	電圧変化: 8%以上 (数回連続検出) 電流変化: 70%以下 (数回連続検出)	0.5秒以上 1秒以内

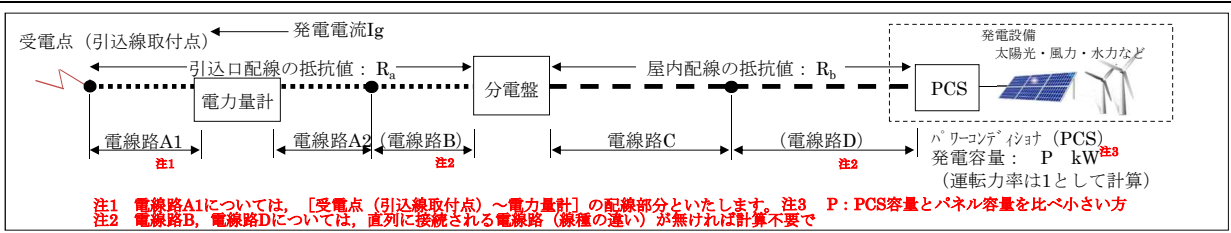
※ 単独運転検出機能の標準整定値

東北電力使用欄	受付番号

### 3. 屋内配線による電圧上昇簡易計算書(記入例)

個所を入力することで自動計算  
手計算の場合は白紙を印刷し使用

お客さま名：東北 太郎  
 お客さま住所：宮城県東北市南区1丁目2-3  
 工事施工業者：株式会社タイヨウ



#### ■ 受電点からPCSまでの電圧上昇値の計算

電圧上昇計算式  $\Delta V = K \times \text{発電電流 } I_g \times (\text{引込口配線の抵抗値 } R_a + \text{屋内配線の抵抗値 } R_b)$

#### (1) 電気方式, K

電気方式 **単相3線式100/200V**

- 入力個所1 電気方式(いずれかを選択)  
 ①単相2線式100V  
 ②単相3線式100/200V  
 ③単相2線式200V  
 ④三相3線式200V

K = **1** ...①

電気方式	K
単相2線式100V	2
単相2線式200V	2
単相3線式100/200V	1
三相3線式200V	$\sqrt{3}$

※1 電圧線と中性線との電圧を求めるため1としている。

#### (2) 発電容量P, 発電電流I<sub>g</sub>

発電容量P **4.000** kW

入力個所2 発電容量(kW)  
 発電容量を入力願います。  
 ※ PCS容量とパネル容量を比べ小さい方

発電電流  $I_g = \frac{\text{発電容量 } P \text{ (kW)} \times 1,000}{\text{発電電圧 } V \text{ (V)}} = \frac{4.000 \times 1,000}{200} = \mathbf{19.0} \text{ A} \dots \text{②}$

電気方式	発電電圧V
単相2線式100V	105
単相2線式200V	210
単相3線式100/200V	210
三相3線式200V	$\sqrt{3} \times 210$

#### (3) 引込口配線の抵抗値 Raと屋内配線の抵抗値 Rb

引込口配線の抵抗値: Ra

屋内配線の抵抗値: Rb

【受電点～分電盤までの配線部分】  
 ※途中で線種が異なる場合は電線路B欄を使用願います。

電線太さ	22sq	14sq
インピーダンス (Ω/km)	(1) 0.82	(4) 1.30
互長 (m)	(2) 15.0	(5) 10.0
抵抗値 (Ω)	(3) 0.012	(6) 0.013

抵抗値(3)=(1)×(2)/1,000 (6)=(4)×(5)/1,000

【分電盤～パワーコンディショナまでの配線部分】  
 ※途中で線種が異なる場合は電線路D欄を使用願います。

電線太さ	14sq	8sq
インピーダンス (Ω/km)	(7) 1.30	(10) 2.31
互長 (m)	(8) 10.0	(11) 5.0
抵抗値 (Ω)	(9) 0.013	(12) 0.012

抵抗値(9)=(7)×(8)/1,000 (12)=(10)×(11)/1,000

引込口配線の抵抗値 Ra : (3)+(6) = **0.025 Ω** ...③

屋内配線の抵抗値 Rb : (9)+(12) = **0.025 Ω** ...④

#### (4) 電圧上昇値(ΔV)の計算

電圧上昇値  $\Delta V = K \text{ ①} \times \text{発電電流 } I_g \text{ ②} \times [\text{引込口配線の抵抗値 } R_a \text{ ③} + \text{屋内配線の抵抗値 } R_b \text{ ④}]$

受電点からPCSまでの電圧上昇値 **0.95V**

※単相3線式の配線においては中性線と電圧線間の電圧上昇値(判定結果)

簡易計算の結果、逆潮流による電圧上昇値が標準電圧の2%以内となります。

判定結果  
 電圧上昇値による判定結果をご確認願います。

※電圧上昇値が2% (100Vの場合: 2V、200Vの場合: 4V) を超える場合は配線の選定見直しやPCSの設置場所見直しをお願いします。

電線インピーダンス (抵抗)  
 引込口配線・屋内配線 (軟銅)

線種	(Ω/km)
2.0mm	5.650
2.6mm	3.350
3.2mm	2.210
5.5sq	3.330
8sq	2.310
14sq	1.300
22sq	0.824
38sq	0.487
60sq	0.303
100sq	0.180
150sq	0.118
200sq	0.092
250sq	0.072

電線要覧 JIS C3307-1980に基づく

#### (5) 電圧上昇抑制機能(自動電圧調整装置:AVR)の整定値【自動算出】

電気方式	単相3線式100/200V
PCSでの電圧値	107.95V
AVR整定値	108.0V

※ AVR整定値が109V(100V配線の場合:109V、200V配線の場合:218V)を超える場合は配線の選定見直しやPCSの設置場所見直しをお願いします。また、AVR整定値がPCSで整定可能な範囲内であるか、併せてご確認ください。

#### (6) AVR整定にあたっての確認事項(□にチェックをお願いいたします)

- 発電設備の発電出力が増加すると、発電設備を連系されるお客さま宅の電圧が上昇し、電線路の電圧も上昇します。このため、周辺のお客さま宅の電圧が上がり過ぎないように、発電設備には電圧上昇値を設定し管理・調整する機能(電圧上昇抑制機能)が組み込まれております。発電設備を連系されるお客さま宅の電圧が上限値に達すると、この機能が動作し、発電設備の出力を抑制して電圧を調整します。これにより、一時的に販売電力量(受給電力量)が減少することがあります。
- 電圧上昇抑制機能については、電力会社の系統電圧の瞬時的な変動によっても一時的に動作する場合がありますが、これは発電設備の正常な動作であり、系統電圧の異常や、機器の故障ではありません。
- 電圧上昇抑制機能の整定値(電圧上限値)を高く設定する場合、発電設備の運転状況等により、宅内電圧が設定した電圧まで上昇し、宅内の負荷機器に影響が生じる可能性があります。

(PCSが複数台の場合)

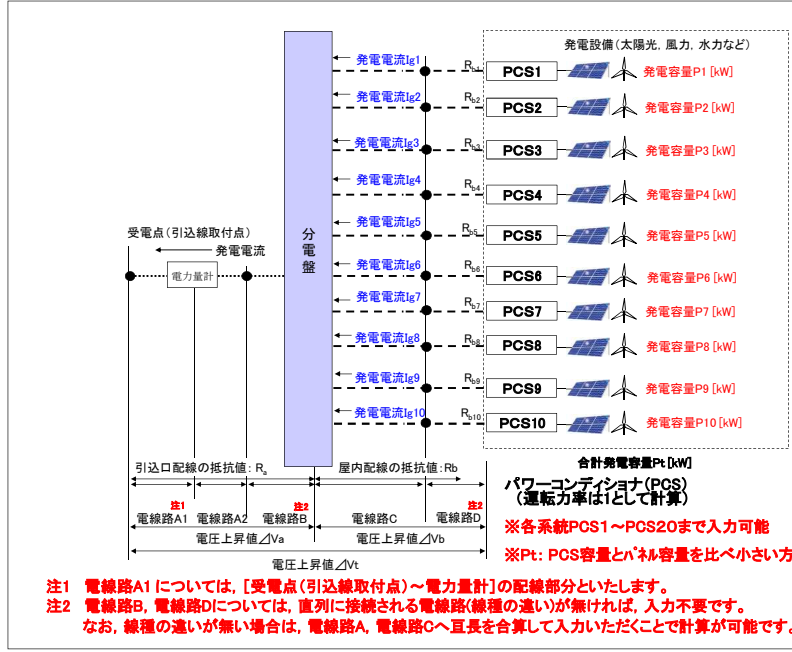
### 3. 屋内配線による電圧上昇簡易計算書 (記入例)

東北電力使用欄	受付番号
---------	------

お客さま名: **東北 太郎**  
 お客さま住所: **宮城県東北市南区1丁目2-3**  
 工事施工業者: **株式会社タイヨウ**

※電圧上昇値ΔVtが2% (100Vの場合: 2V, 200Vの場合: 4V) を超える場合は配線の選定見直しやPCSの設置場所見直しをお願いします。  
 ※AVR整定値が109V (100V配線の場合: 109V, 200V配線の場合: 218V) を超える場合は配線の選定見直しやPCSの設置場所見直しをお願いします。  
 また、AVR整定値がPCSで整定可能な範囲内であるか、併せてご確認願います。

箇所を入力することで自動計算  
 手計算の場合は白紙を印刷し使用



#### ■ 受電点からPCSまでの電圧上昇値ΔVの計算式

$\Delta V = K \times \text{発電電流 } I_g \times (\text{引込口配線の抵抗値 } R_a + \text{屋内配線の抵抗値 } R_b)$

**(1) 電気方式, K 【必須】**

電気方式: **単相3線式100/200V**    K = **1**

※1 電圧線と中性線との電圧を求めるときに用いている。

#### (2) 発電容量P, 発電電流I<sub>g</sub> 【必須】

発電電流  $I_g = \frac{\text{発電容量 } P (\text{kW}) \times 1,000}{\text{発電電圧 } V (\text{V})}$

発電容量 P <sub>i</sub> [kW]	発電電流 I <sub>gi</sub> [A]	発電容量 P <sub>i</sub> [kW]	発電電流 I <sub>gi</sub> [A]
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A
4.000	19.0A	4.000	19.0A

合計発電容量 P <sub>t</sub>	40.000	kW	発電電流 I <sub>gt</sub>	190.5	A
-----------------------	--------	----	----------------------	-------	---

#### (3) 引込口配線(電線路A~B)の抵抗値 Ra, 屋内配線(電線路C~D)の抵抗値 Rb, 引込口配線の電圧上昇値ΔVa, 屋内配線の電圧上昇値ΔVb

【必須】電線路A(電線路A1+A2)				【必須】電線路C				電線路D				Rb	ΔVb	ΔVt	AVR整定値(目安)				
電線太さ	互長(m)	インピーダンス(Ω/km)	電線路C抵抗値(Ω)	電線太さ	互長(m)	インピーダンス(Ω/km)	電線路C抵抗値(Ω)	電線太さ	互長(m)	インピーダンス(Ω/km)	電線路D抵抗値(Ω)								
60sq	20.0	0.30	0.006	8sq	5.0	2.31	0.012					Rb1	0.012	ΔVb1	0.23 V	ΔVt1	1.37 V	PCS1	108.5 V
				8sq	5.0	2.31	0.012					Rb2	0.012	ΔVb2	0.23 V	ΔVt2	1.37 V	PCS2	108.5 V
				8sq	10.0	2.31	0.023					Rb3	0.023	ΔVb3	0.44 V	ΔVt3	1.58 V	PCS3	109.0 V
				8sq	10.0	2.31	0.023					Rb4	0.023	ΔVb4	0.44 V	ΔVt4	1.58 V	PCS4	109.0 V
				8sq	15.0	2.31	0.035					Rb5	0.035	ΔVb5	0.67 V	ΔVt5	1.81 V	PCS5	109.0 V
				8sq	15.0	2.31	0.035					Rb6	0.035	ΔVb6	0.67 V	ΔVt6	1.81 V	PCS6	109.0 V
				8sq	20.0	2.31	0.046					Rb7	0.046	ΔVb7	0.87 V	ΔVt7	2.01 V	PCS7	109V超過要確認
				8sq	20.0	2.31	0.046					Rb8	0.046	ΔVb8	0.87 V	ΔVt8	2.01 V	PCS8	109V超過要確認
				8sq	25.0	2.31	0.058					Rb9	0.058	ΔVb9	1.10 V	ΔVt9	2.24 V	PCS9	109V超過要確認
				8sq	25.0	2.31	0.058					Rb10	0.058	ΔVb10	1.10 V	ΔVt10	2.24 V	PCS10	109V超過要確認
												Rb11		ΔVb11		ΔVt11		PCS11	
												Rb12		ΔVb12		ΔVt12		PCS12	
												Rb13		ΔVb13		ΔVt13		PCS13	
												Rb14		ΔVb14		ΔVt14		PCS14	
												Rb15		ΔVb15		ΔVt15		PCS15	
												Rb16		ΔVb16		ΔVt16		PCS16	
												Rb17		ΔVb17		ΔVt17		PCS17	
												Rb18		ΔVb18		ΔVt18		PCS18	
												Rb19		ΔVb19		ΔVt19		PCS19	
												Rb20		ΔVb20		ΔVt20		PCS20	

#### (6) AVR整定にあたっての確認事項(□にチェックをお願いします)

- 発電設備の発電出力が増加すると、発電設備を連系されるお客さま宅の電圧が上昇し、電線路の電圧も上昇します。このため、周辺のお客さま宅の電圧が上がり過ぎないように、発電設備には電圧上昇値を設定し管理・調整する機能(電圧上昇抑制機能)が組み込まれております。発電設備を連系されるお客さま宅の電圧が上限値に達すると、この機能が動作し、発電設備の出力を抑制して電圧を調整します。これにより、一時的に販売電力量(受給電力量)が減少することがあります。
- 電圧上昇抑制機能については、電力会社の系統電圧の瞬時的な変動によっても一時的に動作する場合がありますが、これは発電設備の正常な動作であり、系統電圧の異常や、機器の故障ではありません。
- 電圧上昇抑制機能の整定値(電圧上限値)を高く設定する場合、発電設備の運転状況等により、宅内電圧が設定した電圧まで上昇し、宅内の負荷機器に影響が生じる可能性があります。